

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 1 日 (2006.6.1)

【公表番号】特表 2005-522809 (P2005-522809A)

【公表日】平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)

【年通号数】公開・登録公報 2005-029

【出願番号】特願 2003-582767 (P2003-582767)

【国際特許分類】

**G 1 1 B 20/14 (2006.01)**

**H 0 3 M 7/14 (2006.01)**

【F I】

G 1 1 B 20/14 3 4 1 A

H 0 3 M 7/14 B

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 10 日 (2006.4.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

D C 制御を用いてチャネル符号を生成する方法であって、

P 個の n ビット入力ワードのストリームを P 個の m ビット符号ワードのストリームに変換するステップと、

N R Z I 変換器を利用して、前記 P 個の m ビット符号ワードのストリームを P 個の m ビット出力ワードの出力ストリームに変換するステップと、

を有する方法において、

前記出力ワードの出力ストリームのランニング・ディジタル・サムを決定するステップと、

前記ランニング・ディジタル・サムに応じて、Q 個の m ビット置換符号ワードの置換シーケンスによって、Q 個の m ビット符号ワードのシーケンスを置換するステップと、

を有し、前記置換シーケンスは、該置換シーケンスが置換する前記符号ワードのシーケンスと等しい長さであり且つ異なるパリティを持ち、n ビット入力ワードのいずれのストリームの m ビット符号ワードへの変換時にも m ビット符号ワードのストリームに出現するものでないことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記方法は D C 制御の更なる方法の後に利用されることを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

各前記方法は、他方の方法の前記ランニング・ディジタル・サムにおける影響を考慮に入れて前記ランニング・ディジタル・サムを決定することを特徴とする、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 P 個の n ビットワードのストリームを P 個の m ビット符号ワードのストリームに変換するステップは、パリティ保存符号化器を用いて達成されることを特徴とする、請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

前記 Q が 4 以上であることを特徴とする、請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

前記チャネル符号の符号制約が保存されることを特徴とする、請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

17PP 符号化器が、前記 n ビット入力ワードから m ビットワードのストリームへの変換を実行することを特徴とする、請求項 4 乃至 6 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

前記置換シーケンスは、テーブル：

```
1:101 001 010 100 -> 100 100 100 100
2:010 001 000 101 -> 010 000 000 101
3:001 001 000 101 -> 001 000 000 101
4:101 000 010 010 -> 100 100 000 010
5:101 001 000 001 -> 100 100 000 001
6:101 000 100 101 -> 101 000 000 101
7:101 000 100 010 -> 101 000 000 010
```

から選択されることを特徴とする、請求項 4 乃至 7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載の方法を利用する符号化装置。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の符号化装置を有する記録装置。